

三川町長選挙 阿部誠氏が5選4期目当選



阿部町長が4期目の抱負述べる

任期満了に伴う三川町長選が27日告示され、現職の阿部誠氏(62・押切新田)が無競争当選となりました。

阿部氏は1995年から町議を2期務め、2003年の町長選で初当選。1期目の任期満了前の06年9月に鶴



三本木公民館で祝勝会

岡市との合併協議を離脱し辞職。同年11月の出直し町長選で再選。その後07年、11年とい

ずれも合併推進派の対立候補に対して、自立のまちづくりを掲げて勝利しました。今回の5選4期目が

出生数2年連続で三川町を下回る

2005年10月に5町村が鶴岡市に合併して今年で10年目となります。

この2年間の出生数は人口の多い藤島でも三川町を下回りました。三川町の子育て支援

合併後の旧町村の衰退は、子どもの出生数の激減で明らかです。2014年12月末日現在の住民基本台帳における子ども数は、各年齢とも三川町は60人台で安定しており、一方、鶴岡市に合併した旧町村は近年大幅に減らしています。

無競争となったことから、もはや平成大合併の問題は決着したといえます。

地域庁舎から税務事務室を廃止

鶴岡市は、組織機構

の見直しで、地域庁舎の税務事務室を平成27年度から廃止し、税務業務をすべて本所に集約する方針です。

26年度は、収納担当を総務部納税課に集約し、地域庁舎に向き合ってきました。

藤島庁舎にある東部税務事務室には10人の職員がいますが、廃止となれば庁舎がますます閑散となります。

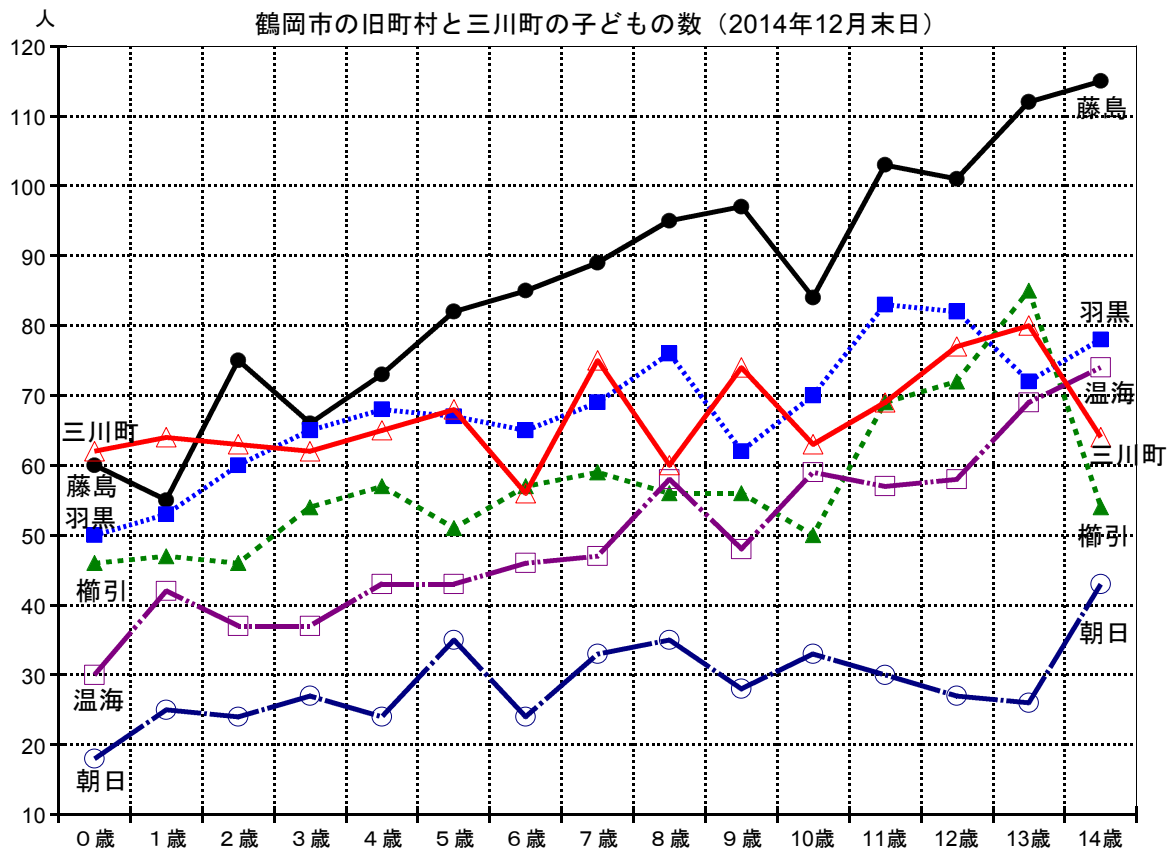
きめ細かな納税相談や、課税に対する疑問相談など、身近な庁舎に職員がいてこそ相談しやすいと言えますが、行革による合理化は住民サービスの低下と行政力の縮小をもたらします。

平成大合併10年目の今年は、合併が何であったのか問われます。

2014年12月末日の子どもの数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
鶴岡	673	665	693	739	735	752	747	742	824	719	814	793	839	866	901
藤島	60	55	75	66	73	82	85	89	95	97	84	103	101	112	115
羽黒	50	53	60	65	68	67	65	69	76	62	70	83	82	72	78
櫛引	46	47	46	54	57	51	57	59	56	56	50	69	72	85	54
朝日	18	25	24	27	24	35	24	33	35	28	33	30	27	26	43
温海	30	42	37	37	43	43	46	47	58	48	59	57	58	69	74
合計	877	887	935	988	1,000	1,030	1,024	1,039	1,144	1,010	1,110	1,135	1,179	1,230	1,265
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
三川町	62	64	63	62	65	68	56	75	60	74	63	69	77	80	64

出生数 2年連続で三川町が藤島を超えた



鶴岡市の旧町村と三川町の子どもの数(2014年12月末日)

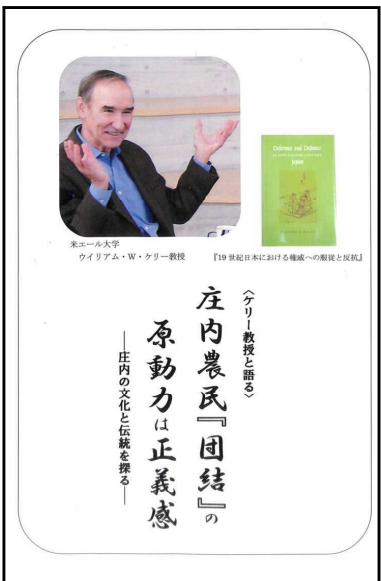
ケリーさんの「アメリカから見た庄内と渡前の人々」講演に期待

2月15日に渡前地区活動センターで、ケリーさんが標記の題で話されることを知りまして。

「さん」づけにしたのは、渡前にいた時、2度ほど拙宅に来られ、またちようど1年前、30年ぶりに会い懇談した時、知的であるが大変気さくで親しみやすく、日本語はペラペラという印象があるからです。

「近代と伝統は矛盾だけじゃなくて、一緒にからみあわなければならず：人類学の立場からいえば、人間が生活するには(都会より)庄内の方が進んだ社会だから、と庄内を研究の場を選んだ理由を言います。30年ほど前の圃場整備最中の話ですが、今も嘸みしめる価値があるのではないで

しんぶん赤旗日曜版1月25日付



昨年2月8日に鶴岡アートフォーラムで講演した記録集(ワッパ騒動義民顕彰)

しようか。演題から察するに、高度なことをやさしく話されるのではないかと思います。(青山崇)

国保税 課税限度額 4万円引き上げ85万円に

自公政権は12月30日、平成27年度税制改正大綱を決定し、国保税の課税限度額を合計85万円へと4万円引き上げの改正を盛り込みました。

基礎分を51万円から52万円に、後期高齢者支援金分を16万円から17万円にそれぞれ1万円、介護納付金分を14万円から16万円に2万

弾丸や大砲は命を奪うことができても、親子の愛情は壊せない」
映画「望郷の鐘―満蒙開拓団の落日」の主演・内藤剛志さんが語る
―「しんぶん赤旗」を読んで 青山崇

私は内藤さんの「しんぶん」が好きである。映画・テレビ・司会と大活躍、『水戸黄門』の「風車の弥七」も演じ、文学座でたたき上げて60歳。赤旗日曜版1月25日号「ひと」欄に登場、公開される標記映画の主演・山本慈昭を演じている。

敗戦の年5月という全くの戦争末期、「疎開」と称し、満蒙開拓団の教師として一家で赴任した長野県・山本慈昭がモデルである。ソ連参戦で開拓団の逃避行が始まり、教え子は散り散りに。その子たちを探し出し帰国させることに生涯をささげ、「中国残留孤児の父」と慕われた人である。

45年の満州にいる」という気持ちでいました。台本では慈昭が泣く場面は一度だけですが、何度も涙が出てきて。二度と悲惨な戦争を起こさせたくない。弾丸や大砲は命を奪うことができても、親子の愛情は壊せない、との思いでした」慈昭の役でも「俺たち、満州で命を失いかけています」という思いで演じました」と語っている。



自分の言うこと以外は認めない安倍首相
沖繩基地負担軽減担当相という大臣がいるのだ。その仕事は単純だ。書いた字そのもので、沖繩の方々が基地があることで困ったことがあること、どんなことでも解決してくれるのが仕事なんだが、ナニをしてきたンカー！

沖繩に基地はイラナイというのがハッキリした。これが気に入くわれない首相を筆頭に、沖繩と名が入った大臣以下、沖繩から知事が会いたいと言つても会わないのだ。

▼他にはそんな大臣が復興相、拉致担当、人口を増やすナンテところもあるのだが。
▼担当者がいなくても、沖繩の心に寄り添ってナンテ沖繩の人々を欺いてきたんだが、こんなことは許しておけるか、というのがこの頃の政府の対応だぜ。

▼こんなことは許されないでしよう。世間ではハラが小さい、人間ができていない、ワガママ、横暴だと色々言われていますがダ。テロに似てませんかー！
▼自分の言うこと以外は認めないんだと予算も左右する。そんな手で恐怖を感じさせ、政治的支配を維持しようとするナンテのはサ。

▼暮れにおこなわれた衆院選では、基地を推進する政府の立場を支持する者は全員負けだ。その前におこなわれた知事選挙・名護市長選挙も基地に反対するところが支持され、これで

▼こんなことを書いている間に不幸が起きた。人命を楯にテレビで見せつけ金をユスル。こんなことは許されないのだから、首相の声明を支持しますよ。
▼しかし、自分のやっていることも悪いことだと早く認めて、基地工事をストップし、沖繩代表と会いなヨ。な。

(石川)